

三重大学教育実践総合センター紀要 執筆・編集要項

(2003. 2. 14 改訂)

1. 三重大学教育実践総合センター紀要（以下、「紀要」という。）は、教育実践、教育工学、教育臨床、教育科学に関する原著論文、および実践記録等の資料の発表にあてる。ただし、未発表のものに限る。
2. 紀要は、原則として毎年1回発行する。
3. 紀要に執筆できる者は、次に掲げる者とする。
 - 1) 三重大学教育学部教員、附属学校（園）教員および研究協力員
ただし、研究協力員は原著論文における第一著者となることはできない。
 - 2) 編集委員会が認めた者
4. 第一著者としての投稿は、1号につき、1編に限るものとする。
5. 原稿の採択、掲載順序および体裁などについては、編集委員会において決定する。
6. 執筆要項は、次のとおりとする。
 - 1) 原稿の長さは、和文の場合、本文が1ページ当たり21字×42行、横2段組で、刷り上り10ページまでとする（表題、要旨、図表、写真等すべてを含む）。欧文の場合、A4ダブルスペースでタイプした原稿15枚以内とする（図表、写真等すべてを含む）。超過した場合は、超過分実費は執筆者の負担とする。
 - 2) 日本語ワードプロセッサで作成することを原則とし、A4用紙に、本文を21字×42行、横2段組（段組ができないときは42字×42行）で印刷した原稿と、原稿在中の記録ディスクを提出する。手書きの場合は、所定の原稿用紙（21字×21行）を用いる。
 - 3) 冒頭に、表題と著者名、所属、要旨（日本語400字以内）、およびキーワード（3～5語）をつける。なお、表題と著者名については、英文も併記する。
 - 4) 図表、写真は、本文の適当な位置に貼り付けるか、あるいは最後にまとめる。この場合、図の挿入位置と仕上がり寸法を指定する（横6.5cmまたは14cmが望ましい）。原図は、そのまま写真製版できるように、鮮明に作成する。写真は、原則として、白黒印刷とする。カラー印刷の場合は執筆者負担とする。
 - 5) 原稿は、原則として、横書きとし、常用漢字・現代かなづかいを用いる。原稿中の外国語は、タイプまたは活字体で明記する。
 - 6) 引用文献・参考文献は論文の最後につけ、原則として、本文の引用箇所の右肩に1) ,2) のように番号をつけ、引用順に配列して次の順序で記述する。
番号、著者、表題、掲載誌名（出版社名）、巻（号）、頁、西暦年号
 - 7) 字体（ゴシック、イタリックなど）の指定は、執筆者が朱書きで明示する。
7. 執筆者は以下の点に留意するものとする。
 - 1) 執筆者は著作権に留意し、著作権に関わる責任はすべて執筆者に帰するものとする。
 - 2) 事例の紹介等、事例本人のプライバシーに触れる可能性のある場合には、執筆者はプライバシー侵害にならないよう最善の注意を払うものとし、その責任はすべて執筆者に帰するものとする。
8. 本紀要に掲載された論文は電子化し、公開することを原則とする。
9. 執筆者が別刷を希望する場合、個人負担とする。